

K11

Acoustic Portable Audio

Rechargeable Battery Powered PA + Wireless + Bluetooth



SHIDU K11 ユーザーマニュアル

この度は、SHIDU K11 をご購入頂き、誠に有り難うございます。本機の性能を十分発揮させると共に、末永くご愛用頂くため、必ずご使用前にこの取扱説明書をお読み下さい。お読みになった後は大切に保管して下さい。

■品質保証に関して

本機は、SHIDU K11 輸入代理店オールアクセスインターナショナル（株）が、ご購入後 1 年以内の品質保証を行います。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、購入の販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても 1 年以内の保証の対象にはなりません。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

- ・異常が発生したときは、電源スイッチをオフにして下さい。
- ・本機は高出力の充電電池本体を使用しています。絶対に開けないで下さい。修理は弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度の非常に高い場所に置いたり、雨天の野外での使用は避けて下さい。

▲警告：次のような場所での使用は避けて下さい。

- ・湿度の非常に高い場所
- ・砂やほこりが多い場所
- ・台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- ・ヒーターの近くなど温度が高い場所

■電源ソース

重要！ 本機は充電してから使用するよう設計されています。充電は付属の専用アダプターのみを使用して下さい。
注意：絶対にアダプターを繋いだまま使用しないでください。

■取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱い方法は、絶対に行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されると、製品の故障が発生する場合があります。

記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中であっても保証対象外の扱いになります。又、記載外の使用方法によって万が一負傷された場合でも、弊社では一切の責任を負いませんのでご了承ください。

修理が必要な場合は、まず購入先にご依頼下さい。

サポートや修理に関するお問い合わせは、次の弊社 e メール窓口までご連絡ください。

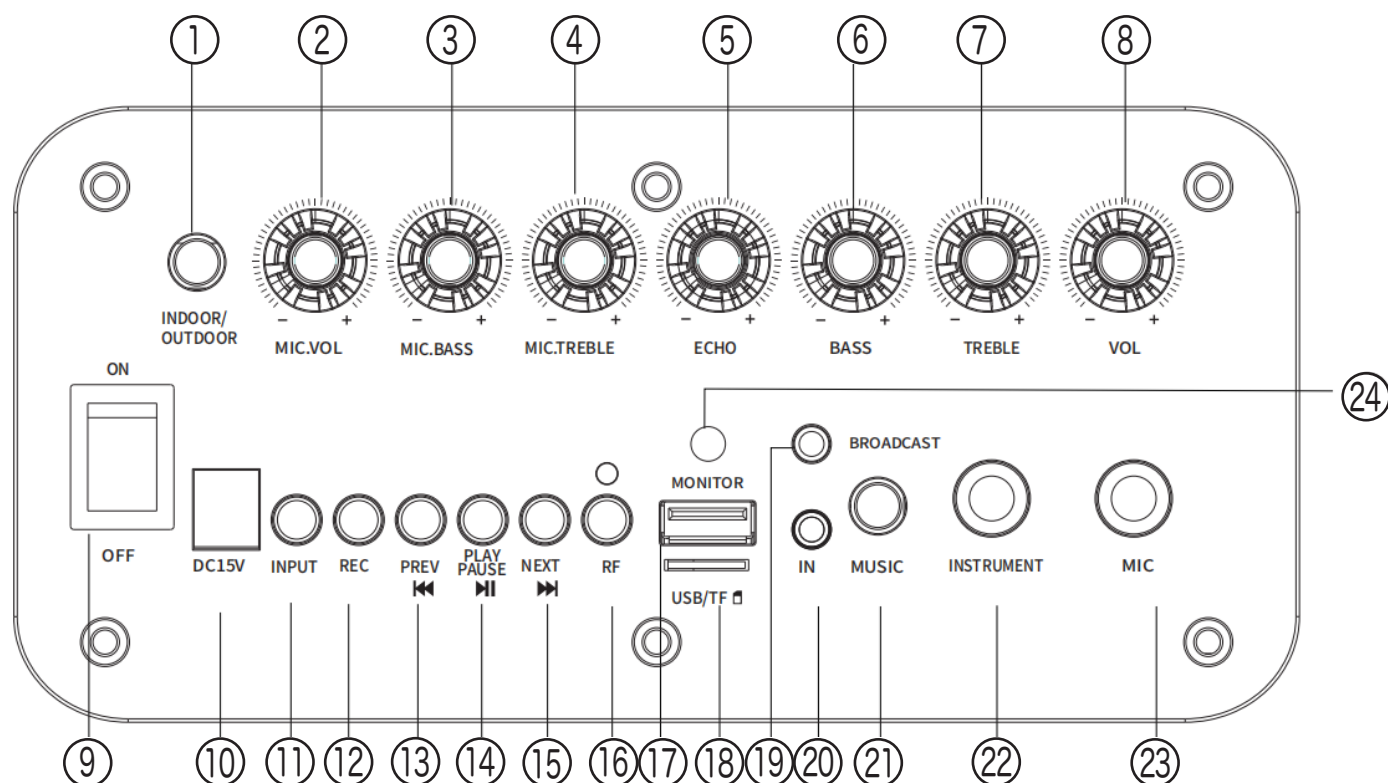
e メール窓口：support@allaccess.co.jp

SHIDU K11 の主な仕様：

- 人間工学に基づいたデザインコンセプトを採用し、スタイリッシュに仕上げました。
- 国内電波法に合格した UHF ワイヤレスシステム (B 型 -12CH 切り替え) を採用しました。K11 の PA 出力カバーレンジを上回る 35m レンジをカバーできます。
- 80W のミュージックパワーを誇る 2 ウェイスピーカーシステムです。
- Bluetooth 5.0 に対応しており、モバイルデバイスなどからの音楽ソースをワイヤレス再生できます。(モノサム音楽再生)
- SHIDU オリジナルの高音質のワイヤレスマイクを 1 台付属し、さらに 1 台のワイヤードマイクとインストルメントの同時出力が可能です。
- 内蔵リチウムバッテリー (12V 7500mAh) の採用により、前モデル K10 連続動作を約 50%を上回る 12 ~ 15 時間連続動作を実現しました。
- レコーダー / プレーヤー機能を操作できるリモートコントロールを付属しています。
- 外部ソース入力、モニター (ヘッドフォン) & ブロードキャスト (ライン) 出力を装備しています。
- K11 複数台のワイヤレス音声接続により、広い会場の PA カバレッジが可能です。

テクニカルスペシフィケーション：

- ・ 音声出力：80W ミュージックパワー
- ・ 周波数特性：20Hz-18KHz
- ・ S/N 比：>=80dBa
- ・ 使用環境温度：-10°C ~ 45°C
- ・ 充電電圧：DC 15V / 2A (付属専用アダプター使用)
- ・ 充電時間：6 ~ 8 時間
- ・ 連続動作時間：12 ~ 15 時間



コントロール

1. INDOOR/OUTDOOR モード

オーディオ再生時にボタンを押すと、音楽の音量が上がり「OUTDOOR/ 屋外モード」に切り替わります。もう一度押すと「INDOOR/ 屋内モード」に戻ります。

2. MIC VOL (マイクボリューム) : マイクロフォンの音量を設定します。(ワイヤレス、ワイヤード)

3. MIC BASS (マイク用ベース) : マイク音声の低域を調整します。

4. MIC TREBLE (マイク用トレブル) : マイク音声の高域を調整します。

5. ECHO (エコー) : マイク信号に効くエコーを調整します。

6. BASS (ベース) : 音楽ソースの低域を調整します。

7. TREBLE (トレブル) : 音楽ソースの高域を調整します。

8. VOL : スピーカーから出力される音量を調整します。

9. Power ON/OFF : 電源のオン / オフ スイッチです。

10. DC 15V : 充電用の電源ジャック

▲ 注意 : バッテリーの故障の原因になるため、充電しながら本機を使用しないでください。

11. INPUT : Bluetooth、UHF(ワイヤレスマイク) を選択するスイッチです。

12. REC : 録音&再生機能のスイッチです。

13. PREV (Previous) : 前オーディオファイルを選択します。

14. PLAY/PAUSE : オーディオプレイ・モードでのプレイ / ポーズの操作を行います。

15. NEXT : 次のオーディオファイルへスキップします。

16. RF : K11 と音声をワイヤレスリンクできます。

17. USB スロット : USB フラッシュドライブに対応しています。(max 32G、MP3 WAV WMA MP3 : 32GB で約 7300 曲、ビットレート 128kbps、曲長 4 分) * WMA は MP3 と同等です。)

18. TF カードスロット : TF カードに対応しています。(max 32G、MP3 WAV WMA)

19. BROADCAST : ライン出力として動画配信時の音声信号ソースとして使用できます。出力レベルは VOL で調整します。

20. IN : 外部ソースから信号のライン入力が可能です。

21. MUSIC : 音楽ソースのボーカルをキャンセルするカラオケ機能です。

22. INSTRUMENT : ギター、ベース入力ができます。この入力は K11 をインストルメントアンプとして使う入力です。

23. MIC : ダイナミックマイクやインストルメントが接続できます。(6.5mm 又は 1/4" フォーンケーブルを使用します。) #2 の MIC VOL で信号レベルを調整します。

24. MONITOR/ モニター : 出力信号をヘッドフォンでモニターできます。リモコンでミュートすると本機から音がミュートされ、ヘッドフォン (イヤホン) だけで出力がモニターできます。

▲ 注意 : ワイヤレスマイクを使いながらインストルメントを入力したい場合、バックグラウンドミュージックは USB または TF カードで音楽を入力してください。

REC (録音) 機能

1. 接続しているワイヤレス、またはワイヤードマイクからの音声のみ録音が可能です。

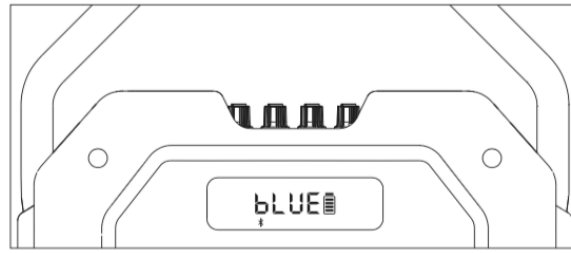
「REC」ボタン (# 12) を長押しして録音モードに入ります。録音メディアには、USB フラッシュドライブ (# 17) または TF カード (# 18) を使用します。再度「REC」ボタンを押すと録音が終了し、メディアオーディオファイルが記録されます。

2. どのモードでも、「REC」ボタンを短く押すと再生モードに入ります。再生はインサートされているメディアデータが再生されます。再生データは “◀” または “▶” で選択します。

3. 再生モードでは、リモートコントロールの “○” から再生の繰り返しコントロールできます。

Bluetooth (ブルートゥース) 機能

1. 本機の電源をオンにし、「INPUT」スイッチを押して Bluetooth モードに入ります。フロントの LED 表示には「BLUE」が表示されます。



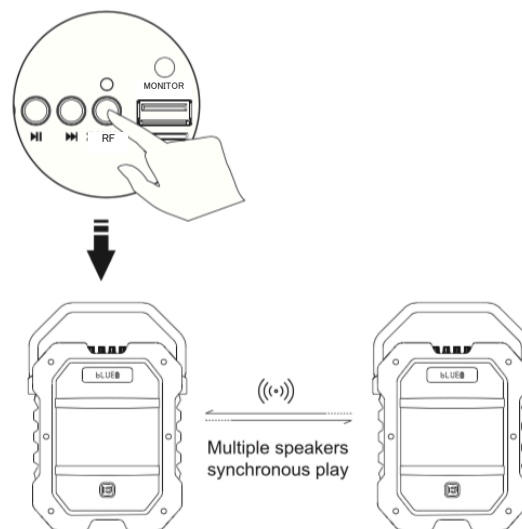
2. モバイルプレーヤーで接続したいデバイスに「K11」を選び、Bluetooth 接続します。接続できない場合は、本機電源を再投入するか、またはモバイルデバイスの Bluetooth のオン / オフを試してください。
 3. 安定した Bluetooth 接続のために、デバイスと本機の送受信方向を変更しないでください。
- ▲ 注意 1. 本機で再生される音声は、L + R のモノサム信号です。
 - ▲ 注意 2. モバイルデバイスの Bluetooth 接続画面には「K11」としか表示されません。異なる K11 を接続すると、接続画面には複数の「K11」が表示されます。接続しない K11 は一度モバイルデバイスから消し、再度「K11」を検索してから、改めて選択 & 接続を試みて下さい。

ワイヤレス・シリアル・テクノロジー

この FM ワイヤレス・テクノロジーは、他の K11 とワイヤレスリンクを可能にします。複数台の K11 が会議などで必要な場合に便利な機能です。

1. 本機の電源を入れ、「INPUT」キートを短く押して Bluetooth モードに入ります。次に「RF」を短く 1 度押します。するとライトがレッドに点灯します。(この操作をした K11 がホストユニットになります。このワイヤレス接続のステップ 2 が完了するまで、他の操作を行わないでください。)
2. ワイヤレス接続する K11 の電源を入れ、「INPUT」キートを短く押して Bluetooth モードに入ります。次に「RF」を短く 2 度押して、ライトがブルーに点灯するのを待ちます。(点灯には 5 秒程度が必要です。) ライトがブルー点灯すると接続が完了します。接続が完了したら「VOL」コントロールを上げて、オーディオの受信を確認してください。このシリアル接続は最大 8 台まで可能です。

このワイヤレス接続によって、ホスト機の TF カードソース、USB ミュージックソース、Audio In、Bluetooth ソースの再生とワイヤレスマイクの音声、同期再生することができます。再生音量は各 K11 で調整できます。



- ▲ ノート：複数台の K11 をワイヤレス接続する際は、ホスト機でステップ 1 を行なった後、ステップ 2 を複数台一緒に実行します。ノイズや音が出ないような支障が起きた場合は、ホスト機との距離を確認してください。ワイヤレス接続する各 K11 とホスト機の最長距離は約 15m 程度です。
- ▲ 注意：このリンク時は、マスター機のワイヤレスマイクが 1 本のみ使用できます。リンク先の K11 音声は全てマスター機と同じ音声再生されるため、リンクされた K11 のワイヤレスマイクは使用できません。


ワイヤレス・マイクロフォンの使用法

まず、本機 K11 の電源を入れてから、ワイヤレスマイクの電源を入れて下さい。ワイヤレスマイクとのペアリングは、以下の手順で行ってください。

1. ON/OFF

K11 とワイヤレスマイクの電源を入れてください。

2. ワイヤレスマイクと K11 とのペアリング

K11 本体にある「INPUT」スイッチを押して下さい。LED 表示が「UHF」に変わります。再度「INPUT」スイッチを 3 秒程度長押しすると、本体内蔵のレシーバーがペアリングのスタンバイ状態になり、LED 表示の「UHF」が点滅を始めます。次に、ワイヤレスマイクの「+」「-」ボタンを素早く押して、任意の周波数を選択します。周波数が決まったら「」を 3 回押して下さい。ワイヤレスマイク側でペアリングの準備ができるとマイクの LCD が点滅を始めます。その後ワイヤレスマイクの LCD 部と本体側ディスプレイにある「IR」の表示を近づけ点滅が止まるとペアリングが完了します。



通常、10～30 秒程度で自動的にペアリングが完了します。

▲ 注意：リンクしない場合は、一旦ワイヤレスマイクの電源を OFF にして、再度電源を投入して下さい。

3. 周波数チャンネル及びワイヤレスボリュームの変更

- 周波数チャンネルの変更方法：「+」「-」ボタンのショートクリック（短く押す）で周波数チャンネルが変更できます。
- マイクボリュームの変更：「+」「-」ボタンを長押しして、ボリュームレベルを上下します。レベルは 0～20 の数値で LCD に表示されます。

4. ワイヤレスマイクのバッテリー表示

ワイヤレスマイク（トランスミッター）のバッテリー残量は、“” で LCD に 3 段階表示されます。（3 グリッド：100%、2 グリッド：60%、1 グリッド：30%）電池が空になった“” のサインが表示されたら、バッテリー（単三電池 2 本）を交換して下さい。

▲ ノート：アルカリ電池の連続使用時間：4～5 時間

単三充電電池の連続使用時間（推奨リチウムポリマーバッテリー）：4～5 時間

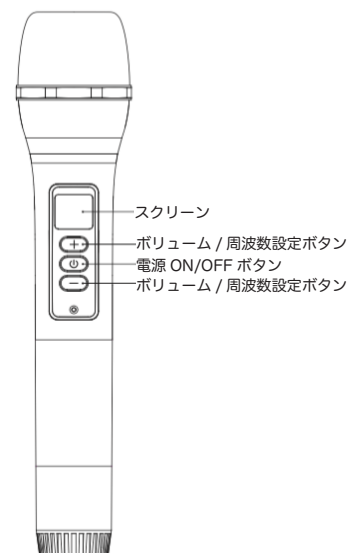
▲ 注意：交換時には電池の極性にご注意して下さい。

▲ ノート：ワイヤレスマイクには、12 チャンネルの周波数が割り当てられています。ワイヤレスマイクの LCD 表示が 5 桁しかありませんので、実際の周波数とは異なります。添付の表をご覧ください。

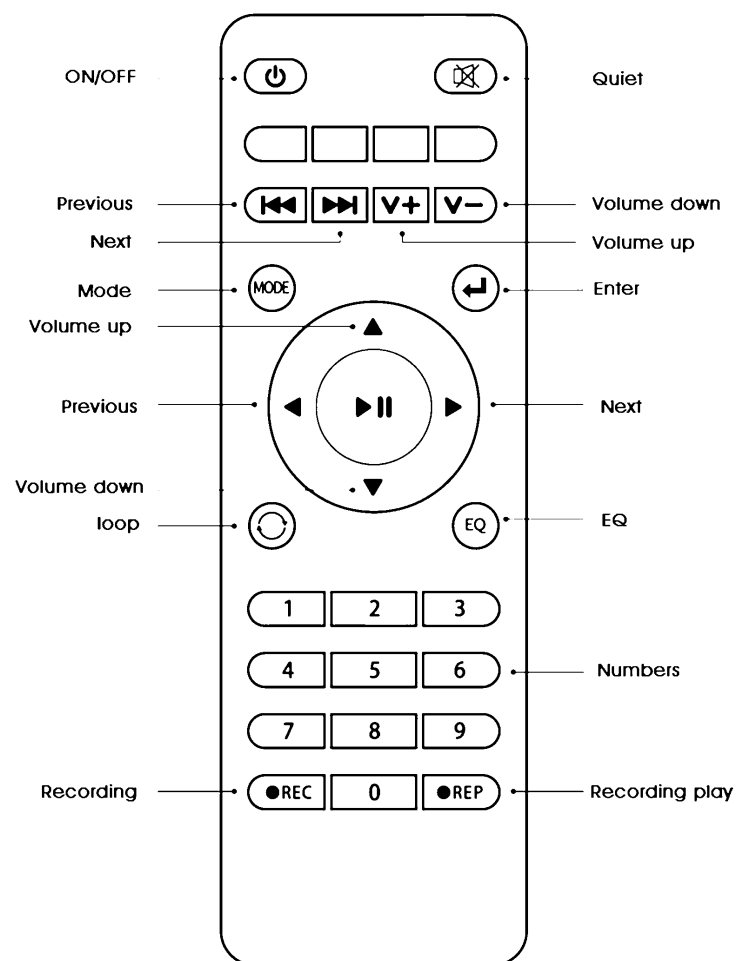
使用可能な周波数

<グループ番号> <ワイヤレスマイクの表示> <設定周波数>

B21	806.20MHZ	806.250MHZ
B22	806.50MHZ	806.500MHZ
B32	806.80MHZ	806.875MHZ
B23	807.00MHZ	807.000MHZ
B42	807.50MHZ	807.500MHZ
B24	807.80MHZ	807.875MHZ
B43	808.00MHZ	808.000MHZ
B25	808.50MHZ	808.500MHZ
B26	808.80MHZ	808.875MHZ
B15	809.00MHZ	809.000MHZ
B16	809.50MHZ	809.500MHZ
B46	809.70MHZ	809.750MHZ



リモートコントロール



1. リモートコントロールは、本機の前面に向け、6m（使用角度 30°）以内で使用してください。
2. 本機の前面に向け、障害物は避けてください。
3. 使用時に強い光が当たると正常に動作しない場合があります。
4. 使用する 2 本の A4 バッテリーは、同じコンディションのバッテリーを使用してください。（古いものとフレッシュなバッテリーを組み合わせないでください。）

▲ 注意：各機能は図をご参照ください。

重要事項 -1: 本機の充電について

本機のバッテリーは、充電方法や使用状態によってその寿命が大きく影響されます。下記の事項を必ず守って本機をご使用ください。

1. 充電する際は電源スイッチを必ず OFF（オフ）にしてください。
 2. 付属の専用 15V/2A アダプターで充電してください。
- ▲ ノート：充電が始まると「CH」（CHARGE）が本体ディスプレイに表示されます。
3. 6～8時間の充電が完了したら、アダプターを本機から抜いてください。本機のバッテリーの状態は、電源をオンにするとバッテリーのサインで表示されます。
 4. 本体のバッテリー表示：4つのバーで容量を表示します。充電時にはこの表示が点滅し、充電が完了すると点滅が止まります。
 5. 本体のバッテリー表示が1バーの25%程度になったら充電してください。
 6. 本機を長い期間使用しない場合は、必ず2～3ヶ月以内にバッテリーの状態をチェックしましょう。

▲ 注意：充電状態のまま放置しないでください。充電完了後、アダプターを電源から必ず外してください。

重要事項 -2: 安全にご使用いただくための注意

1. 本機やワイヤレスマイクを火器の近くや高温の場所で使用しないでください。
2. 内蔵バッテリー（充電池）を開けたり壊したりしないでください。又、交換方法によって爆発する可能性があります。バッテリーを水や火の中へ入れないでください。
3. 可燃性や爆発の危険がある場所では、電源をオフにしてください。ガソリンスタンドや化学関連を扱う場所では、ワイヤレスマイクを使わないでください。
4. K11を航空機に乗せる場合は、各エアラインの規則に従ってください。その場合は、必ずK11の電源はオフにしてください。

トラブルシューティング

1. 電源スイッチを入れても音が出ない。

- ・音声入力がない。→信号ソースを変えてみてください。
- ・音声が聴こえない。→ボリューム（VOL）を調整してください。

2. 音が歪む。

- ・音量を上げすぎると、音が歪む場合があります。
- ・スピーカーが破損していることがあります。

3. マイクロフォンからの音が出ない。

- ・マイクロフォンからの音が出ない。：ワイヤードマイクをMICジャックに正しく接続してください。
- ・ワイヤレスマイクの音が出ない。：ワイヤレスマイクの電源を入れてください。
- ・ワイヤレスマイクの電池容量が低い。：ワイヤレスマイクのバッテリーを交換してください。
- ・本体のMICボリュームが上がっていない。

4. MP3の音声が再生されない。

- ・USBフラッシュドライブ又はTFカードのフォーマットが違っている。：MP3のフォーマットを使用してください。